



カスカラの茶を紹介する武田准教授＝浜松市中区の静岡文化芸術大

静岡文化芸術大 教授ら研究発表

国際協力など

浜松市中区の静岡文化芸術大は1日、本年度の研究成果発表会を同大で開いた。教授ら6人が、国際協力やデザイン、染色型紙の調査・修復手法などについて成果を報告し

た。

国際文化学科の武田准教授とデザイン学部の日比谷憲彦教授は、生産過程で捨てられてしまうコーヒードロップと果皮と果肉の部分「カスカラ」を使って開発した茶を紹介した。カスカラの輸入やパッケージデザインなど学生が学科の壁を越え

て商品開発に取り組んだことから、武田准教授は「普段は異なる学びをしている学生が、一つの商品を通じてつながった」と意義を強調した。

同大では積極的な研究活動を支援する目的で「教員特別研究費」の制度を設けている。この日は2019、21年度に研究をまとめた教授らが発表した。